Community Medicine
── 地域医療の架け橋 ──

つばさ

2010年７月発行

第 24 号

社会保険神戸中央病院

〒651-1145
神戸市北区惣山町２丁目１－１
TEL　０７８－５９４－２２１１
FAX　０７８－５９４－２２４４
http://kobe-hosp.jp/

私たちは安全で温もりのある
医療と保健サービスの提供をめざします。

放射線科

放射線科です。現在５名の医師（内３名は放射線科専門医）で仕事をしています。放射線科の仕事は画像診断部門と放射線治療部門があります。

画像診断部門；近年の医学では、病気の診断にはCT、MRIを中心とする画像診断が重要な役割を果たしています。当院では年間約X線CT　13000件、MRI　8000件、アイソトープを使った核医学検査1400件、脳、心臓を除く血管造影、血管内治療600件、消化管X線検査600件が行われています。造影剤を静脈から注入するだけで心臓の血管の状態が分かる高性能X線CTを始め、現在の医療レベルに必要な機器を運用しています。

全ての画像は５名の放射線科医により診断され内科、外科など各診療科に配信されています。医療機器が整備されているだけではなく、画像診断に専門医を配置し、高い医療レベルを保持するため患者さんの目に触れない部分でも当院はしっかりとした体制をとっています。

放射線治療部門；ガン治療は手術、化学療法、放射線治療を駆使して、治癒率を向上させ、患者さんの負担をできるだけ軽くし、質の高い生活が送れる治療法が求められています。当院は北区で唯一放射線治療ができる施設です。年間約130人の治療を行っています。頭頸部ガン、食道ガンの放射線化学療法、悪性リンパ腫の化学療法後の治療、また乳癌乳房温存術後の治療、前立腺ガンの根治治療など外来通院での治療も増えています。またガンに伴う症状（痛みなど）の緩和のためにも有効な治療法です。各診療科と連携し患者さんにとって最適な治療法を考えていきたいと思います。

迅速で、正確な画像診断をして、患者さんに的確な治療を一日でも早く受けていただくよう、「放射線科の質が病院の質を決定する」をスローガンに、医師、診療放射線技師、看護師、事務員が協力して日々の業務を行っています。

地域の病院、診療所と連携を密にし、当院の持つハード、ソフトをこれまで以上に生かし、地域の画像センターとして皆様に活用してもらいたいと考えています。皆様の御協力をお願いします。　（文責　宮本　裕二）

新任医師紹介

今村麻衣子（いまむらまいこ）：呼吸器内科
５月から赴任しております。微力ながら地域のお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

高道美智子（たかどうみちこ）：脳神経外科
京都第二赤十字病院から脳神経外科専攻医で来ました。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

近隣医療機関のご紹介

山下整形外科

〒651-1142
神戸市北区甲栄台
４丁目３－17

電　話　078－596－6210

診療科目：整形外科・呼吸器科
　　リハビリテーション科

診療時間：９：00～12：00
　　16：00～19：00

休 診 日：火・木・土　午後
　　日・祝日　　全日

山下　誠三　先生

神鉄北鈴蘭台駅近くに整形外科医院を開業して早や十年目となります。開業当初より、整形外科疾患はもちろんですが、地域の診療所としてプライマリーケアーも引き受けていくことをモットーに可能な範囲で幅広く診療を行ってきました。そのため「風邪をひいた」「胃が痛い」「めまいが…」「脳梗塞では？」など様々な整形外科以外の訴えが多いのも当院の特色です。

そんな様々な患者さんを診ながら、やはり困ったときは社会保険神戸中央病院です。この十年間でＣＴ・ＭＲＩをはじめとする特殊検査・各専門科へのコンサルト・救急を要する患者さんの受け入れや手術症例の入院など、快く引き受けてくださり大いに助かりました。

私自身も勝手に社会保険神戸中央病院を自分の病院と決めて、時々引き受けていただいた患者さんの病棟回診をしたりもしています。

これからの時代、益々病診連携が必要となってくると思います。地域に密着した整形外科として、これからも頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

Ｂ型肝炎・Ｃ型肝炎の患者様へ

平成22年４月に「インターフェロン助成」について改正がありました。

①自己負担額の引き下げ
負担額が１万円となりました。
（一部、２万円の方あり）

②助成対象の拡大
Ｂ型ウイルス性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療が助成対象になりました。

③助成制度利用回数の緩和
医学的にインターフェロン再治療が有効と認められる一定条件を満たす場合、２回目の制度利用が認められました。

＊ご質問は医事課までお尋ねください。なお、さらに詳しくは兵庫県健康福祉部にお問い合わせください。

７月から福祉医療受給者証が変わります

平成22年７月より福祉医療受給者証が変更になります。
６月下旬に各市町村より新しい受給者証が送付されます。
７月からは新しい受給者証（老人医療・乳幼児等医療・重度障害者医療・高齢重度障害者医療・母子家庭等医療）を、健康保険証と合わせて窓口に提示してください。
提示がない場合は健康保険証のみの扱いとなりますので、ご注意ください。
助成の内容についてのご質問は、医事課又は各市町村にお尋ねください。

次回予告

第22回 公開医学講座〔平成22年９月11日（土）午後２時～（90分）・当院２階会議室〕

消化器内科　主任部長　**安田　光徳**

『がんから身を守る
～胃腸と肝胆膵の消化器癌から身を守る方法と身体に優しい治療法』

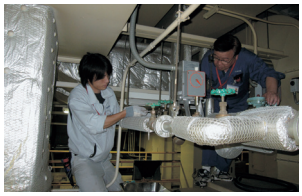
現在日本人の死亡原因の第1位は長らく『がん』で、その半数が胃、大腸、食道や肝臓、胆嚢、膵臓の消化器系のがんが占めています。日本人の３人に１人が、がんで亡くなる現状ですので、すなわち日本人の６人に１人の尊い命が消化器癌で失われている状況です。しかし、優れた検査方法や身体に優しい内視鏡治療法などが日々研究され、助かる命が増えています。それらを合計しますと、日本人の約２人に１人が一生涯に一度は消化器がんに罹患されることになります。私どもはこの難敵と数十年にわたり激闘を続けてまいりました。そうして、近年種々の対抗策を開発してまいりました。１人でも多くの方に健やかな人生を送って頂くことが我々の永年の望みです。ここにその一端を紹介させて頂きたいと存じます。

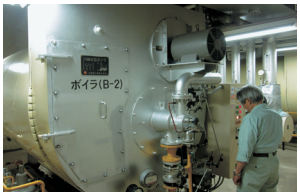
☆講演後、希望者には個別相談を行います　☆受講料は無料です（予約不要）

病院のはたらきもの　シリーズⅡ　施設課

私たち施設課は、７名（職員４名　委託者３名）で患者様・職員に快適な環境を提供できるよう、日々、熱源機器等の運転監視ならびに建物・各種設備（電気・空調・衛生等）の維持管理を行っています。日頃は主に、中央監視室・機械室といった目立たない場所での業務が多い部署ですが、課員一同、地域の皆様に愛される病院になるよう頑張ります。

病院のライフラインを守る！！





医学常識のうそ？ほんと！

注射の後はもむの?!もまないの?!

病院で行われる治療のひとつとして、注射があります。注射を実施したあとによく「揉んだ方がいいですか？」と質問を受けます。

注射と一口に言っても、薬の内容や量によって注射する部位や方法が変わってきます。例えば、血管の中に入る点滴や静脈注射、筋肉の中に入る筋肉注射、皮下に入る皮下注射などがあります。

一般的に注射の後で揉んでよいといわれるのは、肩やお尻の筋肉に薬を入れる筋肉注射となります。しっかりと薬を吸収させ、しこりを作らないためにも注射のあとに揉んでおくことが大切です。ただし、筋肉注射の中でもしっかり揉むとダメな薬もあるので注意が必要です。

反対に、揉まないようにしないといけないのは点滴や静脈注射の後や採血です。揉んでしまうと内出血を起こしてしまう可能性があります。しっかり３分ぐらい押さえて止めましょう。特に、血液が止まりにくくなる薬を使用中の方は、完全に止血するのを確認するまで押さえてください。

また、糖尿病に使われるインスリンなどの皮下注射は揉んでしまうと体への吸収が早くなりすぎてしまう場合があります。注射後は押さえておく程度にしておきましょう。

注射の後の対処について疑問・質問があれば、医師・薬剤師・看護師にご相談下さい。

おいしい栄養学

栄養課　辻井　智美

地　産　地　消

「地産地消」という言葉をご存知ですか？地場生産－地場消費を略した言葉です。

食の安全・安心志向を背景に、身近なところで生産された旬の食べ物を食べようというとりくみがされています。その土地、気候で育まれた食べ物が、地域の人々のこころと身体に最もやさしい、という意味も込められています。兵庫県には多彩な農林水産物があります。播磨地区には山田錦、播州地どり、阪神地区のほうれん草などの軟弱野菜、いちじく、丹波のやまのいも、黒大豆、但馬の但馬牛、岩

津ねぎ、淡路の玉葱、海には松葉ガニ、ホタルイカ、いかなご、明石鯛などなど。

７～８月の兵庫県で獲れる旬の魚は、マダコ、すずき、あゆ、アナゴ類、野菜はトマト、ピーマン、なすなどです。スーパーで「兵庫県産」とあれば選んでみてはどうでしょう。地元で獲れた旬の食材で、こころと身体の健康を手に入れましょう。

参考資料　兵庫県ホームページ

メディカルライン

当院をはじめ、社会保険病院及び厚生年金病院は、平成20年10月にRFO（独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構）に出資され、平成22年10月１日からの経営主体を衆議院で可決成立し参議院で審査される予定でした。しかし政局の激しい変化の結果、改めて臨時国会での成立を目指す運びとなっており、速やかな成立を切に望んでおります。

私共としましては、神戸市北区の基幹病院の一つとして、地域医療に貢献することはもちろん、職員一人ひとりが地域に信頼される病院づくりの意識をもち、安全で質の高いチーム医療を実践し、緩和ケア病棟や介護老人保健施設を有する急性期病院としての特色を生かし、救急体制や高度な検査、特に四疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）に対する診療機能の充実を図る必要があります。

今後は一層、幅広い視野を持ち、地域の中でどういう役割を果たしていくのか、職員全員が考え、実行に移すことが地域に密着した病院と成り得ると考えております。

事務局長　小西　憲次

■ 統 計 資 料 ■

4月1日現在	20年度	21年度	4月1日現在	20年度	21年度
常勤医師数（研修医除く）	64人	65人	MRI	7,498件	7,532件
常勤看護職員数	362人	357人	CT	12,891件	14,008件
その他常勤職員数	183人	202人	アンギオ	476件	593件
診療実日数	243日	242日	リニアック	11,366門	10,756門
入院患者延数	100,831人	99,223人	心エコー	3,187件	3,668件
外来患者延数	202,793人	197,524人	腹部エコー（健診除く）	2,168件	2,000件
平均在院日数	15.5日	15.5日	頸動脈エコー	1,883件	2,121件
病床利用率	68.7％	67.6％	下肢静脈エコー	450件	385件
紹介率	47.3％	50.0％	内視鏡 上部	4,786件	4,453件
逆紹介率	47.2％	51.5％	内視鏡 下部	1,721件	1,639件
患者1人1日診療額 入院	49,189円	50,676円	理学療法	34,364単位	38,891単位
患者1人1日診療額 外来	12,501円	13,284円	作業療法	21,581単位	19,508単位
救急車搬入件数	1,791件	1,954件	言語聴覚療法	9,292単位	10,928単位
ICU入院延患者数	1,476人	1,143人	給食延べ食数	250,946食	241,995食
手術件数	2,160件	1,948件	栄養指導（集団含む）	1,277件	1,543件
死亡件数	390件	379件	訪問看護延べ数	3,996件	3,882件
薬剤管理指導	12,253件	12,531件	ケアプラン作成数	793件	636件

医 療 機 関 の 皆 様 へ

第16回『北神ストロークカンファレンス』を下記の要領にて開催させていただきます。当院では、「北神ストロークカンファレンス」として地域の病院・診療所の医師、コメディカルの方々を主な対象として脳卒中についての勉強会を行っています。

脳卒中急性期治療の後の患者様のＡＤＬをどう向上し、ＱＯＬをどう維持するかという課題があります。この度、脳卒中のリハビリテーションおよび地域連携の実践・指導において多大な業績をあげられておられる兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター西播磨病院　逢坂悟郎先生をお招きしご講演いただくこととなりました。

先生方におかれましては誠にご多忙かと存じますが、万障お繰り合わせの上ご来聴ください。

日　時：平成22年7月21日（水）　19：00～21：00
場　所：社会保険神戸中央病院　２階会議室

【一般講演】
①当院における脳卒中診療の現状と課題　：脳神経外科　部長　松本　圭吾
②当院における脳卒中患者の退院に向けての取り組み：ＭＳＷ 広居　克明
—地域連携パスと在宅支援—

【特別講演】
『脳卒中地域連携パスの現状と病院・在宅連携』
兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター西播磨病院
リハビリテーション科部長　総合相談・地域連携室室長　逢坂　悟郎先生

※当日は軽食をご用意させて頂いております。

病院機能評価 Ver.6　更新認定決定

平成22年２月に、病院機能評価　評価項目 Ver.6 による更新のための受審をいたしました。

この度、財団法人日本医療機能評価機構より機能評価審査結果の通知があり、認定書の交付が決定されました。

今後は、2015年の更新受審をめざし、更なる医療の質の向上を図るべく、職員一同努力して参ります。